

■今回のコースで、エコツアーガイドとして苦勞したこと

①地元の行事・イベントがこの日に集中したため、立ち寄り先への連絡と諸確認作業、弁当や昼食会場の手配、バス駐車場の確保、その他のハンドリングを殆どひとりでやることになり、思わぬ手間が掛かった。(その分、もれなく、そつなくできるというメリットもあるが…)

→いろんなプログラムやツアーコースに対応するような「オーダー(チェック)シート」が必要。

■エコツアーガイドとしての自己改善点(「次はこうしたい」など)

①マンネリになってはダメだが、回数を重ねて慣れることが必要。(何ヶ月もブランクがあると、仕込みなどがその時々でまた新たになるので、たいへん。かといって自分自身が現時点では専門とできない)

②お客様との出会いは一期一会。ツアーのエンディング・クロージングについて、もっと工夫が必要。今回は「長持唄」をちゃんと歌いたい(笑)(今回は根雨から大山寺までのことを殆ど考えておらず、また「分科会」でお別れになるとは思っておらず、随分中途半端だった。もっとカンド～的でありたかった)

③参加者からの指摘の中に、同じ内容の説明が重複云々…とあったが、初めてたたら歴史に接する方に対して「多少難解なこと」「大切なこと」をキチンと伝えるためには、むしろこれ(リフレイン)は大事で、しつこいくらいがちょうど良いと考えている。

■今後、今回のコースを商品化していくにあたって必要だと思うこと。(課題の解決に必要なと思うこと)

①地域全体の理解、地域一体となつてのホスピタリティ……これがちゃんとできるまでには、まだまだ時間がかかりそう。

②リプレースを可能とするため、次に続いてもらえるガイドを養成すること、及び、ある程度の標準化。ツアーのライブ感を関係者によく知ってもらうためにも、関係者同行でツアーを重ねて行うことが必要。

③今回は内容詰めすぎ…の「弾丸コース」だったので、今後は「よりディープな泊付きのコース」と、半日程度の「ライト(入門編)コース」を設けること。ライトコースはバスを使わず、例えば根雨周辺だけ、あるいは大宮周辺だけで実施可能な内容にする。

今回の全行程について、十分とは言えませんがブログにて、自分なりに留意した点などを書いていきますのでご一読ください。多少でも参考にさせていただければ幸いです。<http://okuhino.exblog.jp/>